

磐城時報

日刊 七夕

印刷部 印刷 印刷部 印刷部
電話 電話 電話 電話
代金 代金 代金 代金
送料 送料 送料 送料

石城郡好間村
小田吉治

平町白銀町 (電話六三八番)
高橋商會
高橋龜松

衆議院議員 **佐藤庄太郎**

石城郡大浦村
木村清治

石城郡勿來町
大平睦四郎

成田儀六
川崎第百銀行神田支店長

市制施行調査委員 十一日初顔合せ

各部長の顔觸れ

平町では去月末町會に於て市制施行調査委員會を組織し委員を決定したが、十一日午後一時から町役場内に於て第一回の委員會を開き對策の大綱を協議した。上各部長を決定する筈であるが部長の顔ぶれは大體に於て財政部井上茂作、教育及社會施設部萩原義雄、警備衛生部關内正一、産業及資源部野崎滿藏、土木運輸交通部坂本隆藏の各氏に決定するものと見られてゐる。委員左の如し

△財政部 井上茂作、川崎文治、猪狩觀徳、吉田五平、佐藤幸

△教育及社會施設部 花澤久一郎、吉田寅之輔、吉田金作、萩原義雄、鈴木光吉、緑川喜三郎、矢野泰次郎、大嶺庫

△警備衛生部 關内正一、根本品藏、小松茂、酒井清、馬目雅治、大森勇、堀江正茂

△産業及資源部 會川延太郎、佐々木龍若、堀喜一、多田井笑次郎、吉村安治郎、野崎滿藏、阿部政右衛門、猪狩庄平

△土木運輸交通部 小野伊佐治、松崎長太郎、高橋龜松、坂本隆藏、荒川淺次郎、新井滋造、柿田榮太郎、草野七五三之助

比佐代議士所有山林が 南朝の遺跡と判明

廣橋經泰氏が築いた 湯本城跡を發見

南朝の忠臣北畠顯家將軍の武將廣橋經泰が六百年前の延元元年四月に湯本町附近に城廓を築いた事は史實に徴して明白である。即ち古代記によれば

延元元年北畠顯家將軍の武將廣橋經泰は、初め伊達の靈山に據つて、白河關外仙道の凶徒討伐に奮戦し、尋いで勿來

講堂竣工式

講堂竣工式は去月二十七日、小學校に講堂を新築中であつたが、来る十九日盛大な竣工の式典を挙げる。

贈り物

高齡者に 玉川村には七十歳以上の高齡者が百二名あるが、野崎村長は正の月、贈物としてトタン製湯タンボ一個宛を配つた。

不時着陸

飛行機 東京市帝國在郷軍人航空研究部アプロ式B-11號を二等飛行士原田隆、機關手川野田長治郎兩氏が操縦仙臺から洲崎飛行場に歸還の途中五日午後零時半頃小名濱上空で氣流の關係から飛行不能に陥り小名濱町西町海岸に不時着陸し天候回復を待つて六日同地を出發した。

腹切澤の難工事 竣工した紀念碑

小川江改修の誇り

小川江筋の改修工事は既報の如く平町堀江工業會社の應援をうけて去月二十日竣工したが、同工事は極めて難工事であつた。下平窪地内俗稱腹切澤と稱する地内の掘鑿工事は三百七十年前承應年間澤村勘兵衛が小川江を開鑿するに當り岩石が固いため工事に困り責任觀念から切腹し、工事に非常な困難を來したが、ダイナマイト百餘本を使用し漸やく工事を完全に終えたもので、小川江組合では之を記念するた鐘紡誘致運動は、青沼町に近く同所に記念碑を建立する長は語る。

鐘紡誘致運動は 八日委員会で對策

平町鐘紡工場誘致委員會は八日午前八時から平町役場に開き、青沼町長が経過を報告し今後の對策を講ずる筈であるが、青沼町

歸らぬ夫婦

高久村大字原定田長治郎長男松本久長(三三)は農業を嫌ひ去る昭和三十二年十一月(三三)と共昭和三十二年十一月(三三)と共家に出行衛不明になつてゐた(時の署長小松翠)

不思議の話

四倉署 阿部生

七月中の或る夜の事、風呂場に焚いてあつた燃え木尻が飛んで來たと云ふので、大騒ぎとなり、消防も自發的に警戒の必要ありとして毎夜三十名位づつ、出づて居たが不思議な事が絶へなかつたので、駐在巡査から其の報告がありましたが、署では一笑に附して居たのでありましたが

羽岡氏夫人逝く

羽岡平三郎氏夫人羽岡タカ女史は去る二日午後八時半死亡六日午前九時下小川村上平の自宅で葬儀を執行した。

カフエー主人 凶作地に寄附

小名濱町字橋町カフエー末廣事柴山仙助氏は昨年十二月二十五日、六日、七日の三日間に於ける開業記念デーの純益金十五圓を東北凶作地に寄附すべく平署に寄附した。

父を捨てて

父を捨てて、

少年消防 隊旗樹立式

四倉消防組山金成岩吉氏が四倉町少年消防隊に隊旗一旗を寄附したことは既報の如くであるが、隊旗樹立式は六日午前十一時同町小學校々庭に於て盛大に執行した。

四倉消防出初式

四倉消防組の出初式は六日午前八時より執行したが、小學校々庭に集合備前署長が人員、服装、檢をなし午前九時より一同宮城方面に向つて禮拜、令旨奉讀、小學校長等の祝辭があり正午散會した。

時計を盗む

平町 川井内科診療所 電話二四三番

青間村大字豊間志賀三郎(十五假名)は去る五日夜同村菊地某から二十五圓の金制時計を窃盜し平署に捕はれた。

正月中の出来事 果して殺人か

江名漁夫の喧嘩
平署では二日午後四時頃急死した石城郡江名町長崎の木質宿須江倉吉氏方止宿人中ノ作漁港築港人夫五十嵐吉次郎(四九)の死因を怪しみ調査したところ廿九日夜同僚の同字佐藤源治方木工鈴木梅吉(四三)のため拳で胸腹を突かれ足蹴にされたため血を吐いて膀胱破裂し重体に陥り死亡したことが判明三日朝鈴木を解剖し四日死體を發掘して解剖したが、平署川島司法主任は三日犯人鈴木を取調べた結果廿五日夜江名町遠藤定彦氏方で兩名飲酒中口論となり遂に傷害を與へるに至つたことを自白したので即日被害者を治療した同町平川醫師が膀胱カタル及び心臓衰弱症により死亡との診断書を作成してゐる点を調査するため江名町に出張、四日は平區清田上席検事の指揮を仰ぎ死体を發掘して藤沼醫師執刀の下に解剖した結果傷害致死の證據充分なので同日夕刻事件を豫審に付した。加害者鈴木は東京市城東區龜戸町五の一六二生れで兇行の當夜は酒を約一升くらゐ平けてをり日山谷村生れで同じく燒酎二合くらゐを平けてをりいづれも各地を土工稼業で放浪した一かどりのやくざ者で喧嘩が終つて押直りして間もなく被害者が苦しみに出したのを同町駐在巡查が探知し病床に出張取調べたところ「いやもう示談が出来て仲直りも済んでゐるので身置も心配するほどのことはないのです」と頭として喧嘩の模様を語らず平川醫師に對しても傷害を受けたことを秘してゐた。

謹賀新年

水野虎三郎

内郷村大字宮

宮下秀貫

宮下秀洋

縣會議員 草野三郎

箕輪消防組頭

阿部友睦

内郷村宮

五十嵐齒科醫院

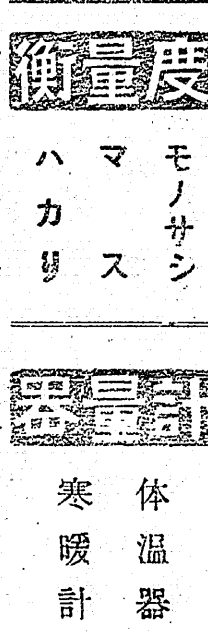
大河内 整形 醫院

大河内 外科 醫院
平町極越小路
大内河一郎

かまぼく
折詰庄造
製 造

木惣菜用
さつまいも揚
吉原揚
平町一丁目(電話一四一番)

吸入用酸素 純度 99%



●寫眞機
●秤ノ取締・錘糸・修覆致シマス
●關内藥局
電話四〇番

謹賀新年 理髮東京
平町三丁目警察署通り

謹賀新年 四倉驛前
常磐タクシー
電話六十一番

建築材料の御用命は
今一番勉強の當店へ
銘かや優良材、基、將棋盤(新品格安意譲り度し)

銘材一式
建築材料
余織田材木商店
平町紺屋町
電話四六〇番

警城名物
北海屋の
もちあね

箱入二十錢より
平町二丁目
北海屋商店
電話三八八番

腸胃病 専門
松村 院醫科
性胃病 腸胃病
平町南町(番七〇一電)

科内
平南町(電二四三番)
川井内科診療所
川井安子

産婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 立蕃彌一
平町新川町十九
木村病院
電話一六四番